宇部市

議会だより

2011年（平成23年）8月1日 創刊号

平成23年
6月定例会

発行　宇部市議会
編集　議会だより編集委員会
〒755－8601
宇部市常盤町一丁目７番１号
宇部市議会事務局
☎34－8812　FAX31－4678

6月議会一般質問2日目（6月8日）に傍聴席から議場を撮影したものです

ごあいさつ

宇部市議会議長
杉山　孝治

今日の地方自治体は、少子高齢化の進行、地域経済や環境問題の深刻化、地方分権の進展などの取り巻く環境の急激な変化に直面しており、より一層自主性、自立性が求められ、これに伴い議会の役割と責任も重要になっております。

このような中、宇部市議会としても多様化する市民ニーズを把握し、これを本市の行政運営に的確かつ鋭敏に反映するため、英知を結集し、議論を深め、議決機関、監視機関としての役割を確実に果たしながら、魅力あるまちづくりの実現に向けて全力を尽くす所存であります。

そこで、市民の皆様と議会とを繋ぎ、開かれた議会を目指す一環として、このたび「議会だより」を発行し、議会の活動状況を的確かつ公正に皆様方にお届けすることと致しました。この「議会だより」が、市民の皆様にとって宇部市政への理解が深まり、自らの声を反映する一助となることを期待いたしまして「議会だより」創刊に際してのご挨拶といたします。

市議会議決結果報告

平成23年6月（第2回）市議会定例会は、6月3日に会期を14日間として開会し、16日に閉会しました。議決結果は下表のとおりです。

番　号	件　　名	付託先	結果	備考
諮問第 1号	人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	－	承認	総合審議
議案第42号	宇部市支所設置条例及び宇部市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例制定の件	文教民生	可決	
議案第43号	宇部市下水道条例中一部改正の件	産業建設	可決	
議案第44号	宇部市まちなか環境学習館に係る指定管理者の指定の件	文教民生	可決	
議案第45号	工事請負契約締結の件（恩田小学校屋内運動場改築（建築主体）工事）	文教民生	可決	
議案第46号	工事請負契約締結の件（（仮称）ふるさと学習館建設（建築主体）工事）	文教民生	可決	
議案第47号	市の区域内に新たに生じた土地の確認の件（八王子町地先）	産業建設	可決	
議案第48号	市の町の区域の変更の件（八王子町地先）	産業建設	可決	
議案第49号	工事請負契約締結の件（西岐波団地建替（第10棟建築主体）工事）	産業建設	可決	
議案第50号	宇部市議会会議規則中一部改正の件	－	可決	総合審議
議案第51号	工事請負契約締結の件（厚東中学校第2期校舎改築（建築主体）工事）	文教民生	可決	
意見書案第1号	原子力発電所の安全対策の確立に関する意見書	－	可決	総合審議

一般質問

1 青木 晴子（新政会）

①東日本大震災の被災者支援のあり方について
　○宇部市における被災者の受け入れ状況
　○市職員の派遣の今後
　○教職員の派遣はされているのか
②東日本大震災に学ぶ宇部市の減災対策について
　○宇部市地域防災計画はどの程度の災害を想定して立てられた計画か。見直しは必要か。必要とすればどのような点が挙げられるか。
　○宇部市地域防災計画・震災編・第2部　災害予防計画について
　　▼第3章　防災訓練の実施　自主防災組織、保育園の防災訓練実施の現状
　　▼第9章　避難予防対策　第3項　避難の勧告、指示の伝達　デジタル防災同報無線整備への見解
　　▼第9章　避難予防対策　第4項　1　避難場所の設置
　　▼第12章　災害時要援護者対策　第2節第1項　支援体制の整備
③東日本大震災に学ぶ今後の取り組みについて
　○太陽光発電システム設置の推進
　○雨水貯留槽設置の推進
　○公共施設に設置されている自動販売機撤去への見解

2 兼広 三朗（新政会）

①大規模小売店舗による地域貢献等の取り組みについて
　○対象となる店舗数
　○地域貢献活動計画書の提出企業数
　○地域貢献活動実績報告書の提出企業数
　○宇部商工会議所、くすのき商工会への加入企業数
　○地域づくりへの参画・協力
　○地域産業の活性化
　○雇用の確保
　○環境への配慮
　○安心・安全対策
②選挙への取り組みについて
　○平成22年7月に行われた参議院選挙後に実施した取り組み（投票率アップ、公正な選挙、投票所のバリアフリー、開票時間の短縮）
　○期日前投票の推移と投票率への影響
　○平成23年統一地方選挙が終わっての反省点と原因

3 安藤　巧（公明党）

①安心・安全なまちづくりについて
　○ストーカー対策
②小野田・楠企業団地の現状と今後について

4 長谷川 耕二（公明党）

①ときわ公園活性化策について
②公共施設の緑化推進について
③通学路における安全確保策について
④情報バリアの解消策の向上について

5 岩村　誠（新風会）

①自治会や校区コミュニティを活用した「まちづくり」について
　○現在の連携の現状
　　▼自治会からの要望等提案状況は
　　▼校区コミュニティからの要望等提案状況は
　　▼自治会や校区コミュニティからの要望等提案の施策への反映状況は
　○今後の連携
　　▼「地域づくり」の視点から
　　▼防災や災害時の役割の視点から

6 村上 恵子（公明党）

①不育症治療の助成について
②学校トイレの洋式化の推進について
③沼交差点改良工事の進捗状況について

7 宮本 輝男（市民連合）

①防災対策について
　○西岐波地区の高潮対策
　　▼沢波川及び江頭川の防潮水門、排水機場の今後の取り組み
　　▼沢波川河口付近の護岸
　○放射線への対応
　○古い炭鉱の坑道への対応
　○津波対策
　○長期避難への対応
②節電への対応について
③ご近所福祉について
　○1年間の事業の検証
　○今後の取り組みと課題
④サピエと点字図書館について

8 田中 文代（新風会）

①今後の本市のバス事業のあり方について
②教育現場での公共交通に関する学習のあり方について
③本市の「環境にやさしい交通づくり推進事業」について

9 新城 寛徳（公明党）

①防災対策の強化について
②市営住宅の指定管理者導入に係る諸課題について
　○入居者への周知は
　○サービスの低下を招かないか
　○プライバシーの保護は大丈夫か
　○入居の優先枠の見直し
③明るく公正な選挙への取り組みについて
　○統一地方選挙の低投票率の総括と今後の対策
　○選挙期間中における政治活動の範囲

10 荒川 憲幸（日本共産党）

①上関原子力発電所建設について
②職員の新規採用について
　○業務が増加している職場への対応は
　○退職者の補充についての考え方は
③学校給食センター建てかえ問題について
　○常盤小学校・常盤中学校・鵜ノ島小学校の3校を新たにセンター化する理由は
　○自校方式とセンター方式のメリット・デメリットは
　○学校給食は教育の一環との見解に変わりはないか

11 唐津 正一（新政会）

①防災対策について
②渡辺翁記念会館の客席照明設備について
③校庭の芝生化について

12 射場 博義（新風会）

①経済対策について
　○これまでの取り組みの現状と成果
　○歳入効果の検証
　○今後の取り組み
　○うべ元気ブランドの方向性
②公共工事の入札価格について
　○予定価格設定の現状
　○最低価格の引き上げ
③まちづくりについて
　○50周年を迎えた野外彫刻展のこれからの方向性
　○中心市街地の取り組み

13 時田 洋輔（日本共産党）

①宇部市立図書館への指定管理者導入について
　○導入検討の理由
　○導入及び検討を中止すべきだが見解は
②公契約条例制定について
　○全国での公契約条例制定に対する見解
　○これまでの研究・検討内容

14 城美　暁（新風会）

①投票率の向上対策について
　○投票環境の整備（投票所の新規設置など投票所別の問題点）
　○若者の投票率低下を受けて、現状分析と今後の対策
②宇部駅及び駅周辺について
　○現状についての認識
　○地域拠点としての再開発の検討
③聴覚障害者の情報障害に対する支援について
　○公共施設の窓口などにおける、電光掲示板（案内板）の設置状況
　○懇談会等における情報障害に対する対策

15 真鍋 恭子（日本共産党）

①中小企業振興基本条例の制定について
②安全で安心できる災害に強いまちづくりについて
③黒石交差点の右折レーン設置の見通しについて

16 志賀 光法（新政会）

①中国電力管内の夏季の電力需要・供給の予測と市の施設の節電への取り組みの基本方針について
　○中国電力管内の夏期の電力需要の最大電力の予測と供給計画
　○市の節電への取り組みの基本方針
　　▼期間設定
　　▼節電に係る数値目標の設定
　　▼具体的な行動計画
　　▼結果の公表
　　▼市民及び事業者への啓発、協力呼びかけ
②メガソーラー（大規模太陽光発電所）への取り組みについて
　○工業団地へのメガソーラーの誘致
　○自然エネルギー協議会への参加

17 山下 憲章（新政会）

①自然との共生の推進について
②観光宣伝活動の取り組みについて
③元気にジャンプについて
④中小企業の活性化の推進について

18 猶　克実（清志会）

①ごみ焼却施設について
　○22年度の修理費は。修理費が増加傾向にある原因は。
　○ごみ処理経費全体の市民負担は
　○使用していない旧焼却炉
　○ごみ焼却を事業として展開して収益を上げることはできないか
②バス事業について
　○旧楠地区と旧宇部市内の格差
　○中心市街地の交通弱者
③公募型外部委託について

19 岡本 公一（日本共産党）

①宇部市耐震改修促進計画について
　○住宅や公共施設等の耐震化の現状と耐震化計画と目標
　○小中学校は防災の拠点－耐震化の早期達成と防災機能の強化へ計画の見直しを
②住宅リフォーム助成事業について
　○事業の実績と経済効果
　○評価と検証
　○今年度の早期実施と今後、持続可能な制度として発展できないか。
③市営住宅の管理運営と市民の苦情への対応について

常任委員会報告

総務財政　消防の広域化を進めています

6月議会においては、当委員会に対する議案の付託は無く、消防本部からの報告が1件ありました。

宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会について　消防本部

1.経　緯

全国の多くの消防本部の規模では、災害の多様化、大規模化に十分対応できない場合があり、複数の消防本部を合併し、広域化するとともに、体制を整備し、統一運用することが極めて有効であります。

このため、国は平成18年に消防組織法の改正を行い、市町村消防の広域化推進の方針を示しました。これを受け、平成22年に宇部市と山陽小野田市は、「消防広域化検討委員会」を設置し、検討の結果、両市間で合併を推進することとなりました。

これに伴い、平成23年1月4日に「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置し、両市長出席のもと、これまでに3回の協議を行いました。

2.協議内容

この協議会では、今後のスケジュール、広域化後の運営方式や消防本部の名称、消防署出張所の名称、配置など広域消防の運営計画に関わるものが28項目。組合名称、組合議会の定数、議員数の配分、管理者の選任等、組合規約に関わるものが12項目協議されております。

3.協議結果

これまでの協議会で、主に次のことが確認されました。

●運営方法は、「一部事務組合方式」
●名称は、「宇部・山陽小野田消防局」

●本部の位置は、現宇部市消防本部
●火災等における出動車両の充実
●許認可申請等は、本部や署でも行えるよう改善

4.今後の予定

協議会で、あと４回程度の協議を重ねた後、9月市議会で議決、その後協議書の調印、県知事への組合設置許可申請を経て**平成24年4月1日に広域消防（宇部・山陽小野田消防局）がスタート**する予定です。

文教民生　ふるさと学習館建設などを審査

文教民生委員会において5議案が可決されました。主な内容は次のとおりです。

▼工事請負契約締結の件

○（仮称）ふるさと学習館建設（建築主体）工事～市民の学習、文化及び創造活動の拠点となる施設の整備を行います～

問今後の施設の拡張性について

答古い図書は新しいものにかえ、展示は時代にあった内容にしていきたいと考えています。電子ブック等も最新のものを取り入れるよう検討していきます。

ふるさと学習館完成予想図

○恩田小学校屋内運動場改築（建築主体）工事～老朽化した屋内運動場を改築し、危険建物の解消を図ります～

問工事期間中授業等への影響について

答始業式等は可能な限り屋外を利用し、雨天時は屋内放送を考えています。また、工事完成予定日が平成24年3月のため、卒業式までに間に合わなければ、俵田翁記念体育館の利用を検討しています。

▼宇部市まちなか環境学習館に係る指定管理者の指定の件～施設の指定管理者をうべ環境コミュニティーに指定するもので、指定する期間は平成23年8月1日から平成28年3月31日までです～

問評価結果の369点を高く評価した根拠について

答選定基準の総得点500点中の65％に当たる325点を上回っており、相対的に評価しました。

問1団体のみの応募でしたが、公に情報提供をしていたのですか。

答平成23年4月から報道発表や市のホームページで幅広く募集を行いました。

平成23年4月8日開催の現地説明会には、うべ環境コミュニティーのほかに民間事業者1団体の参加がありました。

◎そのほかに中心市街地活性化に寄与する内容を当該施設の管理運営に反映させてほしいとの意見がありました。

産業建設　西岐波団地（28戸）建てかえ

●**議案第43号　宇部市下水道条例中一部改正の件**
●**議案第47号　市の区域内に新たに生じた土地確認の件**（八王子町地先）
●**議案第48号　市の町の区域の変更の件**（八王子町地先）
●**議案第49号　工事請負契約締結の件**【西岐波団地建替（第10棟建築主体）工事】

以上４件について、付託されました産業建設委員会の審査の結果及び審査の概要は下記のとおりです。

まず、審査の結果ですが、議案第43号及び第47号から第49号までの都合4件については、いずれも全会一致をもって可決しました。

審査の概要についてですが、議案第43号は、条例中の㈳日本下水道協会の名称変更に伴う条例改正案です。

議案第49号　工事請負契約締結の件【西岐波団地建替（第10棟建築主体）工事】は、鉄筋コンクリート造4階建て28戸の市営住宅1棟を大字西岐波字萩原に今年度建設するものです。請負金額は2億3604万円で、宇部工業・沖村建設共同企業体が受注する工事請負契約です。

本案の審査の過程で、西岐波団地全体の建てかえ計画における最終年度についての質疑がありましたが、平成29年度に完了する予定とのことでした。

議案48号と議案49号は宇部岬漁港の公有水面の埋立てにより生じた753.5㎡の土地の確認と町の区域の編入についての議案です。

いずれも質疑と討論の後、採決の結果、全会一致をもって可決しました。今回の委員会では、特に所属する委員の間で意見が分かれるような議案はありませんでしたが、これからも真剣に議論して充分な審査がなされるように努めたいと思います。

建てかえの進む西岐波団地

市有施設等の視察を実施しました

宇部マテ“フレッセラ”テニスコート（中央公園テニスコート）

去る6月21日に、新しく当選した議員などを対象として、市の施設等の状況把握のために現地視察を行いました。

視察先は、消防本部、環境保全センター、リサイクルプラザ、俵田翁記念体育館、宇部マテ“フレッセラ”テニスコート（中央公園テニスコート）、交通局、広瀬浄水場、アクトビレッジおの、楠こもれびの郷の各施設です。

参加した新人議員からは

●主要施設ということで8箇所を廻り、管理者の方から施設概要等をご説明いただきましたが、時間が許せば、現場で働いておられる方の声を、もっと聞いてみたかったです。

●急ぎ足での視察でしたが、市の主要施設の概要を把握することができ大変有意義でした。今後、各施設の方々から直面している課題や短期・長期の計画なども伺い、現状をできるだけ把握して、効率的な運用に少しでも貢献できるようになりたいと考えています。

●今回の視察では、現有施設の問題点と近年整備された施設の魅力を沢山感じることができました。得られた情報をどのような形で行政に反映させていくかが課題ですが、市民の皆さんとしっかり情報共有をしながら努力していきたいと思います。

などの感想が寄せられました。

広瀬浄水場

議長・副議長

議長及び副議長は次の議員に決まりました。　議　長　杉山　孝治　　副議長　植松　洋進

各常任委員会・議会運営委員会の構成

各委員会（任期2年間）の構成が次のように決まりました。

総務財政委員会		文教民生委員会		産業建設委員会		議会運営委員会	
委員長	高井　仁	委員長	長谷川耕二	委員長	猶　克実	委員長	志賀　光法
副委員長	河崎　運	副委員長	時田　洋輔	副委員長	唐津　正一	副委員長	安藤　巧
委員	荒川　憲幸	委員	青木　晴子	委員	岩村　誠	委員	荒川　憲幸
委員	兼広　三朗	委員	安藤　巧	委員	植松　洋進	委員	岩村　誠
委員	重枝　尚治	委員	射場　博義	委員	岡本　公一	委員	兼広　三朗
委員	柴田　敏彰	委員	黒川　康弘	委員	笠井　泰孝	委員	河崎　運
委員	城美　暁	委員	田中　文代	委員	志賀　光法	委員	新城　寛徳
委員	新城　寛徳	委員	山下　憲章	委員	宮本　輝男	委員	高井　仁
委員	真鍋　恭子	委員	山下　節子	委員	村上　恵子	委員	真鍋　恭子

農業委員・一部事務組合議員

その他、議員から選出する農業委員等は次の議員に決まりました。

農業委員

志賀　光法　　真鍋　恭子

宇部・阿知須公共下水道組合議員

荒川　憲幸　　植松　洋進
高井　仁　　宮本　輝男
村上　恵子

養護老人ホーム長生園組合議員

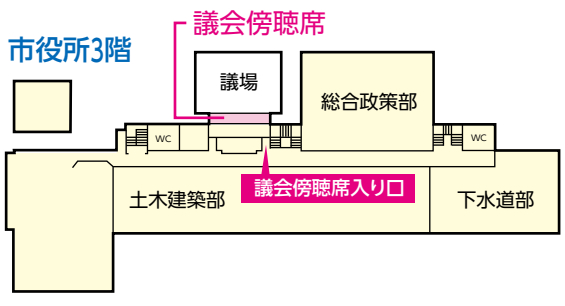
重枝　尚治

議会を傍聴しませんか

市議会の傍聴を希望される方は、市役所3階市議会傍聴席入り口（階段上り口）の受付で、住所、氏名をご記入のうえ、傍聴券の交付を受けて入場してください。

なお、傍聴席（53席、車いす席1席）に限りがあるため、傍聴希望者が多い時には、入場を制限することがあります。

また、耳の聞こえにくい方のために、議場内に赤外線補聴支援システムを設置しています。傍聴受付にて、補聴レシーバー（先着3名）を貸し出しておりますので、ご利用ください。



平成23年6月定例会本会議傍聴人数

日　付	日程	傍聴人数	備　考
6月 3日㈮	1	0	
7日㈫	2	12	一般質問6人
8日㈬	3	27	6人
9日㈭	4	18	7人
16日㈭	5	7	
計		64	

※委員会も傍聴することができます。

市議会コラム　〝堅固な箱〟

「政事は豆腐の箱の如し。箱が歪めば豆腐も歪むなり」とは二宮尊徳の言葉だ。「箱」とはすなわち枠組みの事であり、この善し悪しによって「豆腐」すなわち国民生活の善し悪しが決まるという。

では、政事（政治）において求められる「善い箱」とは何か。それは、明確な目的観の上に築かれる堅固な「箱」であろう。大事なのは、「何のため」という、政党・議員としての存立目的であり、使命感だ。

本来、政治とは「国民」のためのものであり、議員はその手足となって働くことを使命とする。政権を取って「何をするのか」、「何のため」に議員になったのか。この目的観を忘れて、国民生活を守ることはできない。議員として当然持つべきこの目的観の欠如こそが、今の政治における最大の問題ではないか。

殊に地方議員は、生活の現場において一人一人の声を聞く、いわば住民の代弁者でなくてはならない。宇部市議会が発足して今年で89年。新たなスタートを切った本議会においても、歪むことのない明確かつ堅固な「箱」を基盤に、議員一人一人が各々の使命を全うして参りたい。

安藤　巧

編集後記

このたび、市民の立場に立った開かれた議会を目指す目的で、議会だよりを発行することになりました。限られた紙面ですのでできるだけ簡潔に、そして写真やイラストを入れ読みやすさを考え編集しました。今後も市民の皆様の視点を考慮し、親しまれ理解される議会広報づくりに努めてまいります。

なお、発行は年4回の定例会の報告として、8月号、11月号、2月号及び5月号の宇部市広報に合わせて発行いたします。

議会だより編集委員会
委員長　志賀　光法
副委員長　安藤　巧
委　員　唐津　正一
委　員　河崎　運
委　員　高井　仁
委　員　時田　洋輔
委　員　猶　克実
委　員　長谷川耕二

■市議会への問い合わせ　宇部市議会　検索
〒755－8601　宇部市常盤町一丁目7番1号　宇部市議会事務局　☎34－8812　FAX31－4678
ホームページ http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/shigikai　メール info-gikai@city.ube.yamaguchi.jp